

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年8月14日

【四半期会計期間】 第65期第1四半期(自平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

【会社名】 東邦ホールディングス株式会社

【英訳名】 TOHO HOLDINGS CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 濱田 矩男

【本店の所在の場所】 東京都世田谷区代沢五丁目2番1号

【電話番号】 03(4330)3735

【事務連絡者氏名】 執行役員財務部長 荻野 守

【最寄りの連絡場所】 東京都世田谷区代沢五丁目2番1号

【電話番号】 03(4330)3735

【事務連絡者氏名】 執行役員財務部長 荻野 守

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第64期 第1四半期 連結累計期間		第65期 第1四半期 連結累計期間		第64期	
	自 至	平成23年4月1日 平成23年6月30日	自 至	平成24年4月1日 平成24年6月30日	自 至	平成23年4月1日 平成24年3月31日
売上高 (百万円)		265,548		277,545		1,108,089
経常利益 (百万円)		2,905		3,830		17,732
四半期(当期)純利益 (百万円)		1,944		2,411		10,766
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)		2,465		2,255		12,751
純資産額 (百万円)		115,983		123,474		121,594
総資産額 (百万円)		522,804		542,561		536,440
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)		24.88		32.75		142.24
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)						
自己資本比率 (%)		22.18		22.76		22.67

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第64期第1四半期連結累計期間及び第64期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第65期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

調剤薬局事業において、株式会社ヨツバは、重要性が増したため当第1四半期連結会計期間より連結子会社となりました。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

医療用医薬品市場は、本年4月に診療報酬と薬価の改定があり、平均6.0%の薬価引下げ（長期収載品の追加引下げを含めると平均6.25%）が行われました。また、一般名処方薬の推進等で、ジェネリック医薬品の使用が促進されるなど医療費抑制策も浸透されつつあります。一方、高齢化の進展、新薬やオーファンドラッグなどの販売もあり、緩やかながら安定成長を続けています。

このような状況のもと当社グループは、独自の顧客支援システムを競争優位として提案型の営業活動やフィージビリティの拡大を展開すると共に、引き続き未受結・仮納入、総価取引、薬価差問題等の是正に向けた流通改善に取り組んでおります。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高277,545百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益2,893百万円（前年同期比65.9%増）、経常利益3,830百万円（前年同期比31.9%増）、四半期純利益2,411百万円（前年同期比24.0%増）となりました。

セグメントの業績の概略は以下のとおりです。

医薬品卸売事業では、医薬品個々の価値に応じた合理的な販売価格の形成に努めるとともに、価格ロックシステムの厳格な運用により適正利益の確保を図った結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は267,814百万円（前年同期比4.5%増）、セグメント利益（営業利益）は2,136百万円（前年同期比211.8%増）となりました。

調剤薬局事業では、既存子会社の順調な業容の拡大と経営の効率化、高付加価値化を進めていることにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は19,489百万円（前年同期比7.6%増）となりました。一方、新規出店費用や薬剤師の採用もあり、セグメント利益（営業利益）は772百万円（前年同期比28.8%減）となりました。

治験施設支援事業におきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は68百万円（前年同期比36.4%増）、セグメント利益（営業利益）は19百万円となりました。

情報機器販売事業におきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は212百万円（前年同期比29.0%減）、セグメント損失（営業損失）は59百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.9%増加し、406,197百万円となりました。これは、現金及び預金が2,962百万円、商品及び製品が3,257百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が2,437百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.8%増加し、136,364百万円となりました。これは、土地が2,134百万円、建設仮勘定が2,073百万円それぞれ増加し、のれんが202百万円、ソフトウェアが118百万円、投資有価証券が463百万円、長期貸付金が793百万円それぞれ減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.1%増加し、542,561百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.7%増加し、385,164百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が10,345百万円、賞与引当金が1,657百万円それぞれ増加し、短期借入金が3,888百万円、未払法人税等が1,579百万円それぞれ減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6.1%減少し、33,922百万円となりました。これは、長期借入金が1,511百万円、負ののれんが229百万円、繰延税金負債が144百万円それぞれ減少したこと等によります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1.0%増加し、419,087百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.5%増加し、123,474百万円となりました。これは、利益剰余金が2,036百万円増加し、その他有価証券評価差額金が156百万円減少したこと等によります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	192,000,000
計	192,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年8月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	78,270,142	78,270,142	東京証券取引所 市 場第一部	単元株式数は100株であ ります。
計	78,270,142	78,270,142		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日		78,270		10,649		46,177

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成24年3月31日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成24年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 4,639,400		
完全議決権株式(その他)	普通株式 73,558,500	735,585	
単元未満株式	普通株式 72,242		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	78,270,142		
総株主の議決権		735,585	

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が300株(議決権の数3個)含まれておりません。

【自己株式等】

平成24年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
当社	東京都世田谷区代沢 5-2-1	4,606,400		4,606,400	5.89
酒井薬品(株)	東京都三鷹市野崎 1-11-22	33,000		33,000	0.04
計		4,639,400		4,639,400	5.93

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,244	46,207
受取手形及び売掛金	266,499	264,061
有価証券	1,087	512
商品及び製品	60,845	64,102
その他	31,618	32,049
貸倒引当金	763	736
流動資産合計	402,531	406,197
固定資産		
有形固定資産	61,999	66,167
無形固定資産		
のれん	14,658	14,455
その他	2,966	2,859
無形固定資産合計	17,624	17,315
投資その他の資産		
その他	56,333	54,881
貸倒引当金	2,047	2,000
投資その他の資産合計	54,285	52,880
固定資産合計	133,908	136,364
資産合計	536,440	542,561

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	346,414	356,759
短期借入金	15,735	11,847
未払法人税等	3,745	2,165
賞与引当金	3,489	5,147
役員賞与引当金	91	27
返品調整引当金	291	307
その他	8,950	8,910
流動負債合計	378,718	385,164
固定負債		
社債	30	30
長期借入金	13,537	12,025
退職給付引当金	1,985	2,042
資産除去債務	729	730
負ののれん	2,097	1,867
その他	17,748	17,225
固定負債合計	36,127	33,922
負債合計	414,845	419,087
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,649	10,649
資本剰余金	46,144	46,144
利益剰余金	67,536	69,572
自己株式	4,036	4,037
株主資本合計	120,293	122,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,602	5,446
土地再評価差額金	4,301	4,301
その他の包括利益累計額合計	1,300	1,144
純資産合計	121,594	123,474
負債純資産合計	536,440	542,561

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	265,548	277,545
売上原価	243,179	253,238
売上総利益	22,368	24,306
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	10,016	10,431
賞与引当金繰入額	1,759	1,751
役員賞与引当金繰入額	24	24
退職給付引当金繰入額	85	80
福利厚生費	1,727	1,850
車両費	352	384
貸倒引当金繰入額	19	61
減価償却費	648	687
のれん償却額	576	602
賃借料	1,790	1,782
租税公課	281	292
その他	3,381	3,586
販売費及び一般管理費合計	20,624	21,413
営業利益	1,744	2,893
営業外収益		
受取利息	30	28
受取配当金	581	534
受取手数料	678	663
負ののれん償却額	270	229
持分法による投資利益	-	12
その他	453	326
営業外収益合計	2,015	1,796
営業外費用		
支払利息	129	107
持分法による投資損失	9	-
仮払消費税の未控除損失	643	716
その他	72	35
営業外費用合計	854	859
経常利益	2,905	3,830

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	2	153
貸倒引当金戻入額	81	-
段階取得に係る差益	252	-
投資有価証券償還益	-	258
その他	106	31
特別利益合計	442	443
特別損失		
固定資産処分損	25	28
投資有価証券評価損	31	37
災害による損失	60	-
その他	-	23
特別損失合計	116	89
税金等調整前四半期純利益	3,230	4,184
法人税、住民税及び事業税	1,111	2,524
法人税等調整額	174	751
法人税等合計	1,285	1,772
少数株主損益調整前四半期純利益	1,944	2,411
四半期純利益	1,944	2,411

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,944	2,411
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	517	154
持分法適用会社に対する持分相当額	2	1
その他の包括利益合計	520	155
四半期包括利益	2,465	2,255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,465	2,255
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
連結の範囲の重要な変更 当第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため(株)ヨツバを連結の範囲に含めております。

【会計方針の変更等】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1百万円増加しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

銀行保証債務

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
その他	141百万円	(株)スクウェア・ワン その他	987百万円 122百万円
計	141百万円	計	1,110百万円

買掛債務の保証債務

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
(株)杏栄薬品	82百万円	(株)杏栄薬品	63百万円

リース契約の保証債務

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
あかぎ耳鼻咽喉科	21百万円	あかぎ耳鼻咽喉科	20百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
減価償却費	648百万円	687百万円
のれんの償却額	576百万円	602百万円
負ののれんの償却額	270百万円	229百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月11日 取締役会	普通株式	595	8	平成23年3月31日	平成23年6月9日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月9日 取締役会	普通株式	589	8	平成24年3月31日	平成24年6月7日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百 万円) (注 2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	247,174	18,107	50	215	265,548		265,548
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	9,081	3		84	9,168	9,168	
計	256,256	18,110	50	299	274,717	9,168	265,548
セグメント利益又は損失()	685	1,085	17	26	1,726	17	1,744

(注) 1. 調整額は、内部取引の消去と未実現利益の消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百 万円) (注 2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	257,815	19,484	68	176	277,545		277,545
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	9,999	4		36	10,040	10,040	
計	267,814	19,489	68	212	287,585	10,040	277,545
セグメント利益又は損失()	2,136	772	19	59	2,869	24	2,893

(注) 1. 調整額は、内部取引の消去と未実現利益の消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更による当第1四半期連結累計期間の各報告セグメントのセグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	24円88銭	32円75銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	1,944	2,411
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,944	2,411
普通株式の期中平均株式数(株)	78,174,985	73,652,036

(注) 1. 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成24年5月9日開催の取締役会において、平成24年3月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	589百万円
1株当たりの金額	8円
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成24年6月7日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月14日

東邦ホールディングス株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 渡 邊 浩 一 郎

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 武 内 清 信

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 福 田 悟

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている東邦ホールディングス株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、東邦ホールディングス株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。